

本の学校 出版シンポジウム2021

本の価値を あらためて考える

1995年から5年間にわたり鳥取県大山で開かれた「本の学校大山緑陰シンポジウム」は、2006年には「出版産業シンポジウムin東京」に引き継がれ、これまで「東京国際ブックフェア」や「神保町ブックフェスティバル」の協賛企画として開催してきました。昨年からの新型コロナ下で迎えた今年のシンポジウムも、昨年同様オンラインで開催します。

11/19 20 21
2021. 金 土 日

オンライン ※Zoomを使用

参加費：1講座1,100円(税込)
(学生550円(税込))

本年は「本の学校 出版シンポジウム2021」として、“本の価値をあらためて考える”

という統一テーマを設定しました。本や書店や出版が持っている“価値”とは、いったいどのようなものでしょうか。この根源的な問いかけに7つのフォーラムを通して、文化的・産業的・社会的側面からアプローチします。

主催：認定NPO法人 本の学校

後援：日本書店商業組合連合会／書店新風会／日本書籍出版協会／日本雑誌協会／出版文化産業振興財団／版元ドットコム／日本出版学会

参加お申し込みについて

- 事前申し込み・クレジットカード・コンビニ決済による前払です。
- 参加者の方々には事前に、Peatix内メールでオンライン視聴の方法をお伝えします。
- アーカイブ配信を予定しています。参加者には後日、ご案内をお送りいたします。
- ご視聴には、PC/タブレット/スマートフォンが必要です。

お問い合わせ

NPO本の学校

鳥取県米子市新開2-3-10 Tel:0859-31-5001 Fax:0859-31-9231

